

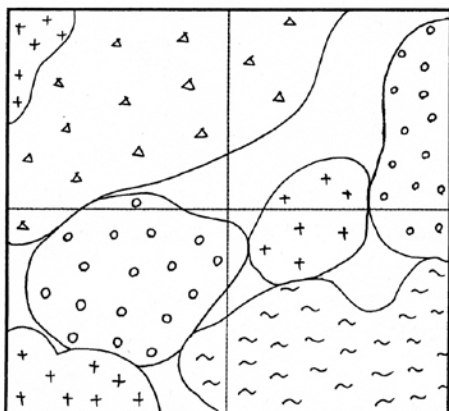
(2) 草本の植生調査

【目的】 なまこ山の各地点の植生を調べ、環境条件の影響を考えながら、群落成立の意味を考える。

【準備】 1Mの方形枠、記録用紙、温度計、照度計、サンプル袋、杭、ビニールテープ、マジック

- 【方法】 ①調査区を設定する。88カ所のお地藏さんの周囲に任意に設定する。
②群落の適当な場所に方形枠を置き4隅に杭を立てる。杭に置年月日、地点番号、設置者名をビニールテープにマジックで書き貼る。
③枠を真上から眺め、それぞれの種が地面を覆っている範囲を記録用紙に描く。
④記録した各植物の草丈を測定し記録する。
⑤方形枠内の照度を測定し記録する。何カ所かの平均を求める。
⑥種類を同定するために、方形枠以外の箇所から見られた植物を地上部のみサンプリングする。
⑦調査地点の環境をできるだけ詳しく観察して記録する

記入例



+ : エンレイソウ Δ : ヤブニンジン
○ : コンロンソウ ~ : エソエンゴサク

⑧持ち帰ったサンプルは図鑑を使って同定する。

⑨各コドラートの被度をだす。

⑩各コドラートの優占種をだし、比較検討する。